

# 伝説のパイ・ウォーター〈原液〉「KFC」を、解禁放出いたします。

令和5年8月吉日

(本店) 名古屋市中村区竹橋町24-17-201  
有限会社ナック代表取締役 山田 哲<sup>てつ</sup>  
(山田 哲は、筆名・山田<sup>まなぶ</sup> 学の本名です。)

TQ技術史には、二段階があります。

- ①「KFC」(クエン酸第Ⅱ鉄をK点=+20に安定させた物)などの〈原液〉を用いた時代
- ②ある物理的装置を山田俊郎が発明し、〈TQ処理〉工程が確立した。

実は、山田 学、②の物理的装置の扱い方のみを伝授され、①の〈原液〉を、山田俊郎がどう生産したかについて、伝授されておりません。その不明点もあり、また、②の装置のみにて、TQ技術運動を推進できますから、①の〈原液〉については、実は在庫がかなりの量あるにもかかわらず、封印してまいりました。

もともと、名古屋大学の山下昭治先生に、技術はなく、父・山田俊郎から山下昭治先生に、〈原液〉500ccを提供したと、父はわたしに、証言しました。まもなく、山田父子が関与せぬところにて、「パイ・ウォーター」という名称が発生し、そこでは、その〈原液〉が活用されていたようです。「パイ・ウォーター」からの噂として、「〈原液〉在庫が、底をつきはじめた…」などを、わたしも、聞いたことがあります。

しかし、当方の手元には、父が生産した〈原液〉が、かなりの量、在庫されたままなのです。

この度、TQ技術史の前半部分の物ではありますが、この宝物も、社会に活用していただきたく、山田 学が信用できる方に、この〈原液〉「KFC」を、解禁放出、提供させていただくことに、決定いたしました。



## 「KFC」

ガラス瓶を含めた全体重量=約37g/瓶の高さ=58mm

1万倍希釈 (1ccを10ℓの水にて薄める) にて使用することが標準

価格は応相談

☆☆☆50年以上前、1972年ごろに、伝説の実験あり。★★★☆☆

「TQK原液があると、無栄養の蒸留水のなかにて、イトミミズが6か月間生きて、動いている。」

「TQ原液があると、100ppm青酸カリの溶液のなかにて、メダカが生きている。

有害生命反応が、阻止されている…。」

「マウスの毛を刈り、皮膚に濃硫酸を落した。そこにTQK原液も落すと、皮膚が半日できれいに乾き、7日めには毛さえ生えてきた。」

☆☆☆☆☆☆☆☆

【お問合せ】山田 学

携帯090-1438-0552

メールakarukunaruyone@triton.ocn.ne.jp